

証券知識普及プロジェクト(注)では、平成 8 年より、10 月 4 日の「証券投資の日」を中心に、国民各層の金融・証券知識及び投資への興味・関心を高めるとともに、個人投資家の裾野拡大を目的としたイベント等を開催している。

本年度も、幅広い世代に証券投資の意義・魅力及び金融リテラシー習得の必要性を理解していただくため、ウェブサイト等を通じた情報拡散を図るとともに、全国各地で若年層(20~30 代)をターゲットとしたイベント等を開催した。実施結果は以下のとおりである。

(注)「証券知識普及プロジェクト」は、日本証券業協会、日本取引所グループ、東京証券取引所、大阪取引所、名古屋証券取引所、福岡証券取引所、札幌証券取引所、投資信託協会、名証取引参加者協会の証券団体等が参加し、公正・中立な立場から長期的・継続的に証券知識の普及・啓発を図ることを目的に、学校における金融経済教育に役立つ各種学習教材の提供、一般消費者向けのセミナーや講演会の開催等、多岐にわたり活動している共同授業である。

1. 「証券投資の日」特設サイトを通じた情報拡散

「証券投資の日」に係る情報を発信するため、本協会ホームページに特設サイトを開設した。特設サイトには、金融リテラシーや資産運用の基礎知識を問う診断コンテンツや、実際に投資をしている若年層が投資の経験談を語る座談会の模様、東京で実施したイベントの講演内容を取りまとめた採録記事を掲載した。

また、投資に関心の低い層に対する興味・関心の喚起を図るとともに、本協会メールマガジンへの登録を促すことを目的として“とうしくんを探せ!証券投資の日クイズキャンペーン”を実施し、正解者の中から抽選で 104(とうし)名に、特製とうしくん図書カードをプレゼントした。(応募件数 10,385 件)

なお、特設サイトのページビュー数は 11 月末時点で 298,419PV であった。

2. 「証券投資の日」記念イベント

各地区の特色を活かした普及・啓発イベントを、全国 9 地区 29 会場で開催した。

【平成 29 年度「証券投資の日」記念イベント 開催結果一覧】

地区	会場数(会場)	申込者数(名)	参加者数(名)
東京	3	886	563
大阪	9	474 (858名から抽選)	326
名古屋	3	230	143
北海道	2	153	116
東北	2	154	105
北陸	3	784	624
中国	2	381 (507名から抽選)	314
四国	3	166	152
九州	2	353	319
合計	29	4,091	2,662

※東京地区については、マネーフォワード主催イベント「お金の EXPO」に特別協賛し、講演の実施や展示・相談ブースを設けた。また、上記 3 会場の他、東京証券取引所内で小学生を対象としたイベントを実施し、メディアを誘致することで、「証券投資の日」に関する情報の拡散や認知度向上を図った。

3. 協会との連携等

(1) 「証券投資の日」特製クリアファイルの作成・配布

証券知識普及プロジェクトマスコットキャラクター“とうしくん”特製クリアファイルを作成し、協会員に対して店頭等での配布方の協力を依頼した。29年度は180社からの申込みがあり、協会員を通じて259,700枚配布した(28年度(クリアファイル配布)173社251,900枚)。

(2) 「とうしくん」着ぐるみの貸出し

「証券投資の日」期間(9月から11月)に、協会員(9社)が開催するイベントに着ぐるみを貸し出した。

以 上